



第6回

錯体化学会 フロントアセミナー
JSCC Frontier Seminar

錯体化学における 観測・計測最前線

2024

6/12 (水)

10:00 ~
16:45

主催 錯体化学会 オンライン開催 Zoom

錯体化学者が扱う物質はより複雑さを増し、合成と同様もしくはそれ以上に、キャラクターゼーションの困難さが増しています。新たな物質の構造や性質を正確に観測・計測することは、サイエンスのブレイクスルーには欠かせないものです。本セミナーでは最先端計測技術を駆使した最新の研究・活動について、ご紹介いただきます。

物質・材料研究機構

原野 幸治

分子材料を観察するための
最先端電子顕微鏡技術

慶応大学

清水 智子

走査型プローブ顕微鏡による多孔性有機
薄膜および金属-分子鎖の構造評価

京都大学

関 修平

電子共役系の本質からみた
電子のさまざまな運動量

関西学院大学

吉田 将己

外部刺激や環境変化を検出して
発光色を変える金属錯体の開発

東北大学

高田 昌樹

NanoTerasu : 研究開発DXを加速支援
する計測基盤としての可能性

(株) リガク

菊池 貴

X線・電子回折による結晶構造解析法
の最前線

参加登録費

錯体化学会 会員 : 法人会員 8,000 円、正会員 5,000 円、
学生会員 1,500 円

錯体化学会 非会員 : 企業所属 20,000 円、大学・公共研究機関所属 10,000 円、
学生 3,000 円

アカデミア団体申し込み : 1研究室

(正会員1名以上を含む、5名まで登録可) 10,000 円

参加申込締切 6月7日 (金)、参加費振込締切 6月19日 (水)

参加登録は↓

